



新講義棟2017年9月に竣工。



2017年9月、本学に新しく講義棟が建設され、竣工となります。本学が公立化し、環境学部(138名)と経営学部(138名)の2学部体制となり、従来の講義室では十分な授業環境を確保できていなかったことから、この度新たに講義棟を増築しました。2階建て鉄筋コンクリート造で、延べ床面積1,146㎡、1階は301人、2階は358人を収容することができる大講義室となります。

本学の基本理念である「人と社会と自然との共生」を踏まえ、既存建物との景観及び環境に配慮し、建物全体の統一感と調和に留意しています。また、大講義室が良好な学修・生活環境に配慮した施設となるよう、緑豊かな周辺と調和させ、自然と共生できる環境整備、人への健康面や防災面にも配慮し、講義に集中できるような音響計画となっています。さらに、講義棟はユニバーサルデザインに配慮しており、エコマテリアルの採用、高耐久性の材料選定及びLCCO2の排出制御により、人にも環境にもやさしい、省資源・省エネルギーに配慮した、負荷の少ない建物となっています。

大講義室では授業だけでなく、最新の設備を取りそろえていることから多様な利用方法が考えられます。今後は学生がより充実した学生生活を送ることができるよう、講義棟の有効利用について検討をしていきます。



100講義室(1階)



200講義室(2階)

※ユニバーサルデザイン・・・特別な製品や調整なしで、最大限可能な限り、すべての人々に利用しやすい製品、サービス、環境のデザイン。

※エコマテリアル・・・環境負荷の少ない、エコロジーに配慮した材料。具体的には、リサイクルしやすい、製造や移動のためのエネルギーが少ない、製造・使用・廃棄時に環境を汚染しないなどの性質が必要とされる。

※LCCO2・・・「ライフサイクルCO2」の略で、建築物などの建設に伴って発生する二酸化炭素(CO2)の排出量を削減するために、建物寿命1年あたりのCO2排出量を算出して評価する手法のこと。